

平成 27 年度
鹿児島大学陸上競技部 部報



鹿児島大学陸上競技部 ホームページ
<http://www4.synapse.ne.jp/kadairikubu/>

目次

○OBG会 副会長挨拶

○監督挨拶

○コーチ挨拶

○幹部挨拶

○平成 27 年度陸上部 OBG会学生補助 中間決算報告

○主な大会成績

○平成 27 年度学生名簿

○編集後記

「熱き志を！」

有菌 公博（昭和 54 年度入学）

私の入学当時の監督は鳥丸先生、3 年時から丸山先生。主将という立場も経験させていただきました。卒業して初任校勤務当時、素質あるちびっ子が福平にいてということで、中学生から鹿大で練習したのが現在の塗木監督。縁あって 3 名の監督をよく知るといふこともあり、OBG 会の発展・充実を託され副会長を委ねられたものの、なかなか尽力できないことを心苦しく感じています。現在、霧島市立国分南中学校で勤務しております。

ところで、10 年ほど前、教職員採用試験に挑戦する競技部の学生や OBG へアドバイスをくれと丸山先生から頼まれたことをきっかけに、お世話になった陸上競技部への恩返しにもなればと考へ、また、後輩たちとの交流も含め、毎年、勤務校で学習会を続けます。ここ数年は、鹿大のみならず、陸上競技を通じて知り合った他大学の若者たちもやってきますが、やはり、我が大学の陸上競技部の出身者となると思い入れは強くなります。嬉しいことに、今年平成 19 年入学の倉津怜也君（現在、鹿大ジュニアチームのコーチ、鹿児島大学非常勤講師）が見事合格し、この四月から教壇に立つこととなります。現在、鶴翔高校で教鞭をとる麦田君など悔し涙を流しながら勉強したことなど、多くの後輩たちとの出会いが懐かしく蘇ってきます。これまで多くの学生や期限付講師の立場で受験する OBG と関わりましたが、さすがに、学生時代、本気でトレーニングや研究に打ち込んだ学生たちの討論はしっかりしたものであり、こうした学習会においてもぐんぐん力をつけていきます。ここ数年の集団討論を見ると、グローバルな時代に個人の持ち味をいかに発揮し、世の中に貢献できる人材であるかが問われています（これは、教職だけでなく民間企業も共通）。お陰様で、新進気鋭の新採たちに負けじと私自身の刺激にもなっています。

現在、現役で競技に邁進している学生の皆さんも、いずれ社会に飛び出すこととなります。残した実績も大切ではありますが、仲間と切磋琢磨しながら自己記録更新を目指して研究し続けたその姿は、必ず人生の大きな糧になると信じています。

振り返ると、私たちの学生時代の競技人生は、入部当初から丸山先生や先輩たちの研究実験として、まるでモルモットのように走っていたような・・・(笑)。しかし、そのことが、やがて、自身の理論の確立へとつながっていきました。他の意見を受け入れながら、自身の哲学と照らし合わせ、常に上へと変化させる柔軟さが大切です。

学生の皆さん、失敗を恐れず、自己の限界に思いっきり挑戦できるのは学生の特権です。ひたむきに競技に挑む自身の姿を誇りに、これからも真摯に取り組んでください。皆さんの躍動する姿に OBG 会の一員としてエールを送ります。

OBG 会員の皆様、鹿大陸上競技部の伝統は現役学生諸君によって、脈々と引き継がれています。互いに青春を謳歌した仲間たちを思い出しながら、若い塗木監督や後輩たちを支援していきましょう。引き続きご協力をお願いいたします。

これからの鹿児島大学

監督 塗木 淳夫

新春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。OBGの皆様も多方面において活躍されていることと思いますが、平素の多大なる陸上部へのサポートを心から感謝申し上げます。少しでも鹿児島大学陸上競技部の活躍によって、皆様に恩返しができるように取り組んでいますが、まだまだ精進しなければならないと選手並びにスタッフ一同感じているところです。昨年の部報でもご紹介させていただきましたが、鹿児島大学 OBGのコーチ&パフォーマンスアドバイザーを始め、トレーナー皆様からも手厚いサポートしていただいております。私自身も微力ながら出来る事を精一杯取り組んで後輩のサポートが出来ればと思っております。

今回、タイトルを「これからの鹿児島大学」とさせていただきましたが、“これからの陸上部”と「これからの鹿児島大学」は非常に密接な関係がありますので、私の知る限りの情報をお伝えしたいと思います。鹿児島大学は、1949年に設立した地方国立大学で8学部、総学生数10,577人（学部生9,008名、大学院生1,569名）、総教員数1,115人によって構成されています。体育系の部は30存在し、陸上競技部は其の一つになります。部員数としては、体育系の中で上位に位置します。

さて、普通の地方国立大学である鹿児島大学はどうなっていくのでしょうか？鹿児島大学が無くなれば、陸上競技部そのもの自体存在することは出来なくなります。18歳人口減少が進行する中で、国立大学全体を規模縮小していく傾向は益々進み、運営費交付金の減少、教員人事の凍結&削減は必至の状況です。上記の財政状況を補填するために授業料値上げも行われていくと思います。そのような状況の中で学生に魅力あるサービス向上が求められ、十分な志願者数を確保していく必要があります。現在、鹿児島大学が地方国立大学として文部省から求められている事は、地域に密着した地（知）の拠点大学になることです。昨年は文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択されていることから、国から求められる鹿児島大学の将来像が予想されます。鹿児島大学は文部省の方針に則って、以下の5つの基本目標を掲げています。「進取の精神」を有する学士の育成、大学の特色を活かした研究活動、地域社会の活性化に貢献、国際的に活躍できる人材の育成、社会に開かれた大学、です。つまり、鹿児島大学は“教育・研究の質を確保しつつ、グローバル化しながら地域に根ざした大学として生き残りをかける”ということになります。今後、地方総合国立大学として鹿児島大学は存続すると思いますが、学科の統廃合、学部の縮小は大きく進んでいくと思います。『教員養成系、人文社会科学系の廃止や転換』も危惧されます。鹿児島大学陸上競技部も伝統的に教育学部の学生主体で活躍してきましたが、近年は理系学部の学生の占める割合が大きくなってきました。今後そのような傾向は益々強くなると思われれます。

今後の大学入試ですが、「多面的・総合的に評価・判定する大学入学選抜」へ転換し

ていきます。新聞等でご存知の方も多いかと思いますが、現在のセンター試験のような「一発勝負」ではなく、欧米などでみられる、「達成度型」のテストに変遷し、大学の選抜試験も5教科以外の強化も含めた調査書や面接などの利用によって、人物を多面的・総合的に評価判定していくようなシステムが導入されていきます。推薦関係の入学者定員も5,6年以内で30%程度になる事が予想されます。理工系は推薦入試が多く導入されるので、理工系に文武両道の学生が多く入学できる機会が増えるのではないかと個人的には期待しています。文武両道の陸上競技部の学生は、まさにこれから求められる大学学生のモデル学生ではないでしょうか？そして、現役学生には、我々もOBGもそうであったように、運動馬鹿でなく勉強もしっかりして大学生活を送っているという自負を持って陸上競技に励んでもらいたいと強く願います。

最後に、皆様もご存知のとおり、2020年に鹿児島国体が開催されるため、これから益々国体へ向けて鹿児島の陸上競技関係者が一丸となっていく必要があるかと思えます。微力ながら鹿児島大学陸上競技部も貢献していきたい所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

平成27年を振り返って

短距離ブロックコーチ 内田 大介

平成27年の短距離ブロックを振り返るに、印象的だった事柄は次のとおりです。

(1) 男子4×100mR

春の九州インカレ予選において、日高-伊藤-上村-吉岡が41秒10の鹿大歴代1位の記録を出しました。同決勝では、表彰台及び日本インカレ標準突破が期待されましたが、バトンミスもあり41秒69の6位と多少悔いの残る結果でした。とはいえ、これまでの歴代1位記録は平成11年に出した41秒23でしたので、実に16年ぶりの記録更新となり、前歴代記録のメンバーだった私からしても、“よくやってくれた！”と思わず快哉を叫ぶ出来事でした。エース・伊藤の存在が大きく、それに引っ張られる形で他のメンバーも成長してくれました。今年は伊藤が抜けるため、戦力ダウンは必至ですが、その分の穴埋めを後輩たちがしっかりしてくればさらなる記録更新も十分可能だと思います。短短パートは目下一丸となって、日本インカレ参加標準(40秒80)突破を目標として練習に取り組んでいます。

(2) 甲斐達気

彼はまだ2年生ですが、シーズン通して短長パートを牽引してくれました。春インカレの400mでは決勝には惜しくも進出できなかったものの、48秒91の鹿大歴代6位の記録を出し、上位入賞者と渡り合える力を持つことを証明しました。春インカレ含めシーズン通して万全の状態で臨めた試合は少なかったように思いますが、どの試合でも個人種目、リレーとしっかり結果を残しており、逆境に屈しない精神面の強さも感じさせました。日本インカレ参加標準(B標準47秒50)は高い目標であります。有言実行の彼ならきっと達成してくれるに違いないと確信しています。

(3) 短距離男子 春インカレの結果では、昨年同様男子トラック得点のうち短距離ブロックで獲得したのは伊藤を除き両リレー種目のみでした。厳しい現実は変わりありませんが、個々人の記録を見るとほとんどの者が昨シーズン中に自己ベストもしくは大学ベストを更新し、リレーのメンバー争いもようやく(?)熾烈になってきました。今まさに成長の途上段階にあると言えます。積極的に朝練や自主練に取り組む等、1年生含めチーム全体の目的意識が例年より一段高いように感じます。

(4) 短距離女子 人数は相変わらず少ない(跳躍の1年生・内田を入れて4名)ですが、一人ひとり非常によくがんばっています。800mの尾ノ上、100mHの吉元はまだ3年生、2年生にして鹿大歴代3位の記録を出しましたし、怪我から復帰中の本田も高いポテンシャルを持っています。今シーズンさらに上を目指してがんばってくれるものと期待しています。

先に述べたとおり、今年から来年にかけてチームとして大きく飛躍が期待できる時期だ

と感じています。ただ、今年に限ったことではないにせよ、いかにも学生らしいと言うべきか、独りよがりな考え方をする者も見受けられるようなので、メンタル的にも大人になっていただいて、チーム全体が易きに流れないよう幹部中心に努めていってほしいと思います。自分が今競技に打ち込める環境にあることに対して、感謝の気持ちを忘れずに。

今シーズンを振り返って

長距離ブロックコーチ 堀脇淳一

今シーズンを振り返る前に、OBG会の会計担当としまして、今年度のOBG会費の納入依頼のご案内について再三に渡る不手際があり、大変ご不快の念をおかけしましたことをあらためまして、書面にてお詫び申し上げます。今後は、発送作業に携わる担当学生の指導を徹底していきたいと思っております。また、近年の決算報告を後半のページに記載しておりますので、ご一読いただけましたら幸いと存じます。

さて、九州インカレでは昨年度の大会で1000m競歩において、7位入賞を果たした高橋宏敬（3年）に更なる飛躍を期待しましたが、レース後半に歩型違反（失格）の恐れからペースを落とさざるを得なくなり、昨年度同様7位という結果に終わりました。

その他の競技においては、3000m障害で水溜将貴（2年）が8位入賞まであと0.79秒足りずに9位という結果が最高で、その他のメンバーは入賞に遠く及びませんでした。昨年同様学校対校得点は2点という結果でした。

九州学生駅伝は、夏場の走り込みはもちろんのこと、試走の回数を昨年よりも更に増やすなどし、「今年こそは」という思いで大会に臨みました。1区のスタートは良かったものの、あとが続かず昨年同様14位で、県内の全ての大学に敗れ、3年連続で県内最下位の大学となり非常に悔しい思いをしました。

今シーズンの5000mの記録は上位4人が15分00秒、04秒、05秒、06秒とまずまずの記録をマークしましたが、それ以降の選手が16分台では上位で争うのは、なかなか厳しいのかなと思っております。

今年度は九州インカレへ向けての取り組みと並行して、全日本大学駅伝の選考会参加資格（5000m8人平均15分30秒以内）をクリアしようとやってきましたが、それも達成できませんでした。その際、記録会においてOBの七里雄大君や外山雅之君、大分県の記録会では後藤航大君にもペースメーカーをしてもらいましたが、結果に結びつかず本当に申し訳なかったと思っております。

レースの結果や日頃の練習の状況を見ていて、個々に努力しているようには思いますが、部員が少ないせいか、チーム全体でお互いに競い合って向上していこうという姿勢が少し足りないかなと思っております。

今年は久しぶりに長距離ブロックから主将が選ばれました。主将の園田は責任の重みを競技力に活かして欲しいですし、それに続くメンバーも厳しい戦いにはなると思いますが、更なる奮起を期待したいと思います。

最後になりましたが、OBG会員の皆様方には常日頃より多くのご支援を頂き、誠にありがとうございます。改めて感謝と御礼を申し上げます。また、来年度も変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

飛躍の1年にするために

主将・長距離ブロック長 園田 亮介

主将・長距離ブロック長を務めさせていただいております園田亮介です。はじめに、日頃のOBGの皆様のご支援・ご声援に感謝申し上げます。鹿児島大学陸上競技部が日々充実した活動ができているのは、OBGの皆様をはじめ、監督・コーチ・トレーナーなど多くの方々のご指導やご支援の賜物であると感じております。

さて、昨年5月に前幹部の先輩方と引き継ぎを行いました。昨年と違い、現在の幹部は全員同学年の体制で、昨年幹部を経験した者もおり大変恵まれている環境でのスタートとなりました。1年生も多く入部してきましたが、その反面長距離・女子部員の減少が目立っている状況は変わらないままであります。今後、多くの入部者を期待したいところであり、そのためにも私たちが陸上競技の魅力・楽しさを伝えられるようにしていきたいと思っております。今年、「春インカレ入賞・島原学生駅伝入賞」という目標を掲げて取り組んできました。しかし、現実には厳しく大きく力不足を痛感しました。「自分たちは努力している、練習している」と感じていても、強豪大学はそれ以上に練習している。だからこそ、強豪大学はここ一番という大舞台での勝負強さ・結果につながっているのだと感じます。チームでの入賞を達成するには、更なる練習量の増加により個々の力の向上を目指さなければいけないと思えました。今年から長距離ブロックだけでなく、短距離・フィールドブロックも朝練を取り入れて、メイン練習だけで補えない部分の補強を行い、監督や各ブロックコーチ、トレーナーの方々のご協力も得ながら日々充実した練習を行っています。1人1人に何が足りないのかという自己分析を行い、各課題をしっかりと把握し改善を図っています。まだまだ、力がついていないかもしれませんが、1日1日を大切にしながら辛抱強く取り組んできたいと思っております。シドニーオリンピックマラソン金メダリストの高橋尚子の「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ」という言葉があるように、しっかり土台から作り上げて、これからの大きな飛躍へとつなげていきたいと思っております。

春の九州インカレまで残り数ヶ月となりました。私たち幹部も春の九州インカレを最後に次学年への幹部と引継ぎになります。これまでの経験や活動を踏まえ、私たちの築き上げてきたものがしっかり出せるように、さらにこれまで偉大なる先輩方が築き上げられた伝統と誇りを胸に、これからも大会や練習に全力で打ち込んでいきたいと思っております。そして、胸を張って陸上競技をしてきてよかったといえるような陸上競技部にして後輩たちにも引継ぎ、伝えていけるようにしたいです。

最後になりましたが、鹿児島大学陸上競技部はこれからも全力で目標に向かって日々精進して参りたいと思っております。今後とも鹿児島大学陸上競技部へのご支援・ご声援をよろしくお願い致します。

1年間の感謝を込めて

主務 遠矢 祐美

5月の幹部交代により、主務を務めさせていただいております遠矢祐美です。今年度もOBGの皆様からのご支援やご協力、監督・コーチのご指導により、私たち鹿児島大学陸上競技部の活動が日々充実したものとなりましたことに深くお礼申し上げます。

私は、5月の幹部交代で主務になり、右も左も分からない状態で今年度の学連登録や大会出場などに関する事柄等、運営面に携わることになりました。不安もありましたが、皆様のご協力に助けられ、大会の手続きや登録等を滞りなく行うことができました。私自身、主務という役を通して、先輩の方々がしてきてくださっていた見えない仕事に多く気づくことが出来、陸上競技部に少しでも貢献することが出来たことを、大変嬉しく思っております。登録をしていく中で、部員の伸びていく記録を目の当たりにし、一人一人に対する期待も高まりました。大会では、どの選手も精一杯に頑張っている姿を見て、私もとても励まされる思いで、毎回感動をもらいました。

来シーズンではさらなる記録の向上・上位入賞を目指して、部員一同頑張っていく所存ですので、OBGの皆様。監督、コーチにおかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

この1年を振り返って

副主務 吉田 麻乃

平成27年の幹部交代により、副主務を務めさせていただいております吉田麻乃です。はじめに、いつも鹿児島大学陸上競技部をご支援して下さるOBGの皆様にご心より感謝申し上げます。皆様のご理解あってこそこの部活であると、日々感じている次第であります。

5月の幹部交代で先輩方から仕事を引き継ぎ、部活に副主務として関わるようになってから、今までの部活の運営に関して、これまでの代々の先輩方や、部活に関わる全ての方がいかに多くの労力をかけて携わってこられていたのか、初めて気付きました。日頃の部活の計画から、大会の出場や遠征の手続き、お金の管理、学園祭等の行事の運営等、今まで何気なく私たちが通り過ぎていたものが、多くの苦労、話し合い、連携のもとに行われていたことを、自分たちが部活の運営に関わって知り、自分自身も次の代に役割を無事に引き継げるように昇進していきたいと思っております。これまでの部活を滞りなく運営して下さっていた先輩方、部活に関わる全ての方々に感謝しております。私自身、まだまだ未熟で周りの方にご迷惑をお掛けすることもあります。最後まで精一杯役割を遂行したいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。

昨年の振り返りと来シーズンへ向けて

短距離ブロック長 日高 達也

はじめまして。私、昨年5月より短距離・フィールドブロックの責任者及び短短パート長を務めさせていただいております農学部生物生産学科3年の日高達也と申します。

昨年、短距離ブロックにおいては、男子4×100mリレーで41秒10のタイムで鹿児島大学歴代最高記録を更新いたしました。この際のメンバーの所属学部は、工学部・農学部・医学部であり、幅広い学部の学生が活躍しております。またフィールドブロックでも、男子やり投げにおいて3年鎌田隼人が66m30の歴代1位となる記録を出しており、確実に鹿児島大学の歴史に新しいページを加えています。しかし、長く連続出場していた全日本インカレへは参加者を出すことができませんでした。今年は、上記の2種目をはじめとする全日本インカレへの出場、そして、高い意識の共有や部員全体の底上げを目標に、3年生を中心に日々の練習へ取り組んでいます。

現在の短距離の練習状況としましては、12月からの量の多い走り込みの時期からシーズンを見据え、例年よりも早くスピードを高めた練習へとシフトしようと準備している段階です。ここまでブロック全体としても怪我人がほぼおらず、互いに刺激し合いながらモチベーションの高い練習を消化できています。そのモチベーションは早朝練習という形でも表れています。塗木監督や内田コーチには、お忙しい中、合間を縫って大学グラウンドや鴨池陸上競技場でご指導いただいております。私たち学生も積極的にアドバイスを求めていく姿勢をさらに出していくことで、高い意識を持つことや部員全体の底上げという目標に近づくことができると考えております。

最後になりますが、OBGの方々には毎年多大なるご支援ならびに激励をいただいております。この部報という場を借りまして感謝申し上げます。皆様のご期待に応えるために、1日1日を大切に過ごしていきます。

今年度の目標

フィールドブロック長 鎌田 隼人

昨年に引き続き、今年度もフィールドブロック長を務めさせていただいております、鎌田隼人です。

はじめに、OB、OGの皆様のご支援やご声援、監督・コーチのご指導のおかげで、私たち陸上競技部は日々の練習に精一杯取り組むことができ、大会でも競技に集中し最大限のパフォーマンスができていることに、大変感謝しております。

現在、フィールドブロックでは投擲パートが男子2名、女子2名。混成パートが男子8名、女子1名の計13名で活動しております。昨年に比べると、新入生が多く入部してくれたので、昨年にも増して活気のあるブロックとなりました。

今年のフィールドブロック全体で掲げている目標は、「春インカレでフィールドの点数を20点獲得する」という目標です。そのために、フィールドブロックは一丸となって練習に励んでいます。また、投擲は市来さんの指導のもと、練習に取り組んでおり、お仕事の合間を縫って来てくださる市来さんにはとても感謝しています。跳躍混成は監督にアドバイスをもらいながら、自分たちで考えて練習できているのではないかと思います。このように、私たちはたくさんの方々を支えられながら練習に取り組めて、試合でも笑顔になれるということを常に頭において今後も頑張りたいと思います。また、そのような方々に「結果」で恩返しをしたいと考えております。

最後になりましたが、監督・コーチをはじめ、OB、OGの方々には今後ともご指導・ご支援のほどよろしく申し上げます。

平成 24 年度
鹿児島大学陸上競技部 O B G 会
決算報告

《収入》

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	¥460,472	
OBG 会会費	¥439,000	24 年度納入分
雑入	¥88,093	利子（預金口座）・返金・総会残金等
計	¥987,565	

《支出》

項 目	金 額	備 考
学生補助	¥300,000	
事務通信費	¥117,500	切手代、封筒代、印刷費、郵送料、会合等
慶弔費	¥21,000	
雑費	¥36	税金（預金口座）
計	¥438,536	

収入合計 ¥987,565
支出合計 ¥438,536

差引合計 ¥549,029

※ 平成 25 年度へ繰越し

以上ご報告いたします。

鹿児島大学陸上競技部 O B G 会

会 計 堀脇 淳一

平成 25 年度
鹿児島大学陸上競技部OBG会
決算報告

《収入》

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	¥549,029	
OBG 会会費	¥353,000	25 年度納入分
雑入	¥67,192	利子（預金口座）・返金・総会残金等
計	¥969,221	

《支出》

項 目	金 額	備 考
学生補助	¥300,000	
事務通信費	¥106,601	切手代・封筒代・印刷費・郵送料・会合等
慶弔費	¥32,130	
雑費	¥36	税金（預金口座）
計	¥438,767	

収入合計 ¥969,221

支出合計 ¥438,767

差引合計 ¥530,454 ※ 平成 26 年度へ繰越し

以上ご報告いたします。

鹿児島大学陸上競技部OBG会

会 計 堀脇 淳一

平成 26 年度
鹿児島大学陸上競技部OBG会
決算報告

《収入》

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	¥530,454	
OBG 会会費	¥239,000	26 年度納入分
雑入	¥30,069	利子（預金口座）・返金・総会残金等
計	¥799,523	

《支出》

項 目	金 額	備 考
学生補助	¥300,000	
事務通信費	¥95,905	切手代・封筒代・印刷費・郵送料・会合等
慶弔費	¥0	
雑費	¥28	税金（預金口座）
計	¥395,933	

収入合計 ¥799,523

支出合計 ¥395,933

差引合計 ¥403,590 ※ 平成 27 年度へ繰越し

以上ご報告いたします。

鹿児島大学陸上競技部OBG会

会 計 堀脇 淳一

第 85 回九州学生陸上競技対校選手権大会

平成 27 年 5 月 15 日 (金) 16 日 (土) 17 日 (日)

鹿児島・鹿児島県立鴨池陸上競技場

男子 (総合 10 位 25 点)

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	伊藤 貴祥	10"88(+0.4)	10"95(-1.5)	11"09(-2.0)	4 位	
	日高 達也	11"26(+0.1)				
	上村 凌	11"21(-0.4)	11"37(-1.6)			
200m	伊藤 貴祥	22"44(-1.6)	21"81(+0.3)	21"50(+1.3)	3 位	
	日高 達也	22"68(+0.1)	22"41(+1.4)			
	上村 凌	22"72(+0.8)	22"90(+0.2)			
400m	豊 竜誠	50"24	49"96			
	早田 正和	51"15	50"80			
	甲斐 達気	50"25	48"91			鹿大歴代 6 位
800m	酒本 直弥	2'08"80				
	豊留 雅也	2'01"64				
	松岡 顕仁	2'02"16	2'03"74			
1500m	米田 瑛久	4'21"28				
	鈴木 俊也	4'07"43				
	高田 蒼太	4'06"08				
5000m	園田 亮介			16'15"05		
	丸山 覚詞			16'17"84		
	杉藪 光大			16'41"13		
10000m	松田 大樹			36'27"07		
	園田 亮介			34'21"90		
	水溜 将貴			32'54"59		
110mH	宮村 匠	16"78(+1.0)				
	中村 弘樹	16"09(+2.5)				
400mH	北野 恭平	57"33				
	吉岡 啓夢	55"91				
	宮村 匠	57"72				
3000mSC	有山 雅人	10'22"94				
	水溜 将貴	9'36"20		9'34"21		

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
4×100mR	日高 達也	41"10		41"69	6位	鹿大歴代1位 (予選)
	伊藤 貴祥					
	上村 凌					
	吉岡 啓夢					
4×400mR 予選	吉岡 啓夢	3'20"31				
	豊 竜誠					
	早田 正和					
	北野 恭平					
4×400mR 決勝	吉岡 啓夢			3'16"60	3位	
	甲斐 達気					
	伊藤 貴祥					
	豊 竜誠					
10000mW	高橋 宏敬			51'59"40	7位	鹿大歴代4位
走幅跳	秋葉 裕己			DNS		
	染矢 健平			6m05(+0.4)		
	松木 義幸			4m67(+0.8)		
三段跳	秋葉 裕己			DNS		
	染矢 健平			13m18(+4.4)		
やり投	鎌田 隼人			61m94	7位	鹿大歴代3位)
	河野 泰志			41m42		
十種競技	若杉 土擁才			5037点	7位	
	中崎 真之介			4291点		

女子（総合7位 21点）

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	早崎 光	12"77(-1.6)	12"91(-2.5)	6位	
200m	早崎 光	26"08(+0.4)	25"77(-1.1)	4位	鹿大歴代8位
400m	今長谷 那津美	1'04"10			
	尾ノ上 千夏	1'00"82			
800m	尾ノ上 千夏	2'18"42	2'17"80	7位	鹿大歴代3位
100mH	吉元 佑美香	15"39(-1.7)	15"41(-1.6)	5位	鹿大歴代3位 (予選)
400mH	吉元 佑美香	1'11"13	1'09"72	6位	鹿大歴代4位 (決勝)
4×100mR	尾ノ上 千夏	50"71	51"12	6位	
	早崎 光				
	今長谷 那津美				
	吉元 佑美香				
4×400mR	尾ノ上 千夏		4'08"25	8位	
	早崎 光				
	吉元 佑美香				
	今長谷 那津美				
走高跳	大島 舞子		DNS		
やり投	宮下 瞳		31m91		鹿大歴代6位
円盤投	金本 由佳		33m00		鹿大歴代4位

第 68 回西日本学生陸上競技対校選手権大会

平成 27 年 6 月 5 日（金） 6 日（土） 7 日（日）

岐阜・岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	伊藤 貴祥	10"77(+0.1)	10"89(-0.3)			
200m	伊藤 貴祥	21"50(+0.8)	21"86(-1.4)			
400m	甲斐 達気	50"00				
3000mSC	水溜 将貴			9'30"91		
4×400mR	甲斐 達気	3'23"64				
	早田 正和					
	豊留 雅也					
	松岡 颯仁					
三段跳	佐藤 拓実			13m95(-0.1)		
やり投	鎌田 隼人			60m91		

女子

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
800m	尾ノ上 千夏	2'21"95				
100mH	吉元 佑美香	15"45(+1.6)				

第 70 回 鹿児島県陸上競技選手権大会

平成 27 年 7 月 3 日 (金) 4 日 (土) 5 日 (日)

鹿児島・鹿児島県立鴨池陸上競技場

男子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	伊藤 貴祥	10"93(+1.5)	10"76(+1.8)	4 位	
	日高 達也	11"08(+1.8)			
	上村 凌	11"23(+1.5)			
	佐藤 拓実	11"28(+1.5)			
200m	伊藤 貴祥	21"90(+2.5)	21"84(+2.1)	3 位	
	日高 達也	DNS			
	上村 凌	DNS			
	甲斐 達気	23"17(+0.3)			
400m	富永 拓臣	53"37			
	早田 正和	51"28	53"14	8 位	
	甲斐 達気	50"45	50"21	3 位	
	弓 尚樹	54"73			
800m	豊留 雅也	2'02"88	2'04"19	5 位	
	松岡 顕仁	2'05"21			
	上木 信伍	2'08"44			
1500m	鈴木 俊也	4'12"69			
	園田 亮介	4'08"81			
	高田 蒼太	4'27"40			
5000m	園田 亮介		15'34"22		
	高田 蒼太		15'53"21		
110mH	中村 弘樹	16"21(+1.0)	15"9(手動)	3 位	鹿大歴代 9 位 (予選)
400mH	中村 弘樹	1'00"14			
3000mSC	水溜 将貴		9'30"98	2 位	
4×100mR	上村 洸樹	41"77	41"88	2 位	
	伊藤 貴祥				
	上村 凌				
	日高 達也				

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4×400mR 予選	豊留 雅也	3'23"02			
	早田 正和				
	松岡 顕仁				
	甲斐 達気				
4×400mR 決勝	豊留 雅也		3'19"58	2位	
	日高 達也				
	早田 正和				
	甲斐 達気				
10000mW	高橋 宏敬		50'12"08	1位	鹿大歴代 3位
	田中 優希		59'33"52	3位	鹿大歴代 9位
走幅跳	黒永 祐汰		NM		
三段跳	秋葉 裕己		12m47(+1.1)		
	染矢 健平		12m32(+0.4)		
	佐藤 拓実		14m23(+0.4)	5位	鹿大歴代 5位
やり投	鎌田 隼人		64m74	1位	鹿大歴代 2位
円盤投	中崎 真之介		31m98	6位	
十種競技	若杉 土擁才		5183点	7位	
	兒島 侑樹		4649点		

女子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
400m	尾ノ上 千夏		1'00"37	3位	
800m	尾ノ上 千夏	2'25"93	2'20"24	2位	
100mH	吉元 佑美香	15"52(+1.5)	15"32(+2.6)	5位	
4×100m	内田 実来	52"26			
	早崎 光				
	吉元 佑美香				
	尾ノ上 千夏				
走高跳	大島 舞子		DNS		

第 70 回 九州陸上競技選手権大会

平成 27 年 8 月 21 日 (金) 22 日 (土) 23 日 (日)

沖縄・沖縄県総合運動公園陸上競技場

男子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
400m	甲斐 達気	49"77	49"92	5 位	
800m	豊留 雅也	2'01"77			
110mH	中村 弘樹		16"77(-1.9)		
4×400mR	豊留 雅也	3'20"76	3'21"84	4 位	
	上村 洸樹				
	早田 正和				
	甲斐 達気				
三段跳	佐藤 拓実		13m65(+2.1)		
やり投	鎌田 隼人		65m43	6 位	鹿大歴代 1 位

女子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
800m	尾ノ上 千夏	2'22"41	2'23"08	5 位	
100mH	吉元 佑美香		15"73(-4.4)	6 位	
円盤投	金本 由佳		32m05	8 位	

第 43 回九州学生陸上競技選手権大会

平成 27 年 9 月 25 日 (金) 26 日 (土) 27 日 (日)

福岡・久留米総合スポーツセンター陸上競技場

男子

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考	
100m	西牟田 天嗣	11"57(+3.0)					
	吉岡 啓夢	11"50(+2.4)					
	上村 洸樹	11"25(+2.8)					
	日高 達也	DNS					
	上村 凌	10"94(+3.2)	10"99(+1.9)				
	木場 彬仁	DNS					
	佐藤 拓実	11"22(+1.5)					
	白濱 幹智	11"62(+1.6)					
200m	上村 洸樹	22"59(+2.4)	DNS				
	日高 達也	DNF					
	上村 凌	22"66(+1.9)					
	弓 尚樹	23"32(+3.8)					
400m	富永 拓臣	52"66					
	早田 正和	50"06	50"47				
	甲斐 達気	50"29	49"59	49"38	4 位		
	弓 尚樹	53"23					
800m	豊留 雅也	2'00"36	2'01"69				
	松岡 颯仁	2'00"69	2'02"41				
110mH	中村 弘樹	DNS					
4×100mR	A	上村 洸樹	42"64				
		佐藤 拓実					
		上村 凌					
		日高 達也					
	B	木場 彬仁	43"05				
		白濱 幹智					
		中村 弘樹					
		早田 正和					

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
4×400mR	A	上村 洸樹	3'21"84	3'20"61	5 位
		早田 正和			
		豊留 雅也			
		甲斐 達気			
	B	富永 拓臣	3'28"42		
		松岡 顕仁			
		宮 村匠			
		弓 尚樹			
走幅跳	黒永 祐汰		6m72(+2.6)		
三段跳	染矢 健平		12m99(+1.3)		
	佐藤 拓実		13m89(+4.1)		
やり投	鎌田 隼人		63m79		
	河野 泰志		48m94		
十種競技	若杉 士擁才		5168 点	8 位	
	中崎 真之介		5543 点	5 位	
	兒島 侑樹		DNF		

女子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	内田 実来	13"78(+2.9)			
400m	尾ノ上 千夏	1'00"86			
	本田 奈樹	1'02"96			
800m	尾ノ上 千夏	2'22"01	2'23"77	4 位	
100mH	吉元佑美香	15"14(+1.0)	15"29(+3.1)	6 位	鹿大歴代 3 位 (予選)
4×100mR	内田 実来	51"72			
	吉元 佑美香				
	尾ノ上 千夏				
	本田 奈樹				
走幅跳	内田 実来		4m66(+1.9)		
やり投	宮下 瞳		28m75		
円盤投	金本 由佳		32m23	7 位	

第33回九州学生駅伝対校選手権大会

平成27年12月5日(土)

長崎・島原市営陸上競技場

順位	大学名	記録
1位	第一工業大学	3時間3分24秒
2位	日本文理大学	3時間5分12秒
3位	福岡大学	3時間6分24秒
4位	九州大学	3時間7分13秒
5位	鹿屋体育大学	3時間7分45秒
6位	志学館大学	3時間9分23秒
7位	熊本大学	3時間9分29秒
8位	長崎大学	3時間10分45秒
9位	鹿児島国際大学	3時間12分14秒
10位	久留米大学	3時間13分10秒
11位	佐賀大学	3時間13分24秒
12位	九州国際大学	3時間14分30秒
13位	沖縄国際大学	3時間14分34秒
14位	鹿児島大学	3時間17分2秒
15位	福岡教育大学	3時間20分51秒
16位	九州工業大学	3時間26分48秒
17位	宮崎大学	3時間27分45秒
18位	西南学院大学	3時間30分51秒
19位	北九州市立大学	3時間31分25秒
20位	熊本学園大学	3時間36分50秒
21位	東海大九州	3時間38分29秒
22位	産業医科大学	3時間43分46秒
23位	熊本県立大学	3時間53分40秒

1区 (7,73km)	鈴木 俊也	区間 13 位	25.19
2区 (8,39km)	高田 蒼太	区間 11 位	26.30
		累計 12 位	51.49
3区 (8,27km)	有山 雅人	区間 16 位	28.03
		累計 15 位	1.19.52
4区 (9,38km)	水溜 将貴	区間 9 位	36.59
		累計 14 位	1.56.51
5区 (9,08km)	園田 亮介	区間 10 位	31.08
		累計 14 位	2.27.59
6区 (7,24km)	上木 進伍	区間 14 位	22.16
		累計 14 位	2.50.15
7区 (7,71km)	杉菌 光大	区間 15 位	26.47
		累計 14 位	3.17.02

第15回九州学生女子駅伝対校選手権大会

平成27年12月5日(土)

長崎・島原市営陸上競技場

順位	大学名	記録
1位	福岡大学	1時間18分08秒
2位	鹿屋体育大学	1時間19分11秒
3位	久留米大学	1時間24分52秒
4位	名桜大学	1時間27分36秒
5位	福岡女子大学	1時間29分43秒
6位	熊本学園大学	1時間30分26秒
7位	九州大学	1時間30分35秒
8位	東海大九州	1時間32分04秒
9位	佐賀大学	1時間32分30秒
10位	久留米工業大学	1時間34分05秒
OPN	福岡大学B	1時間20分08秒
OPN	福岡大学C	1時間21分51秒
OPN	福岡大学D	1時間21分57秒
OPN	鹿児島連合	1時間27分47秒
OPN	福岡連合	1時間30分01秒
OPN	長崎連合	1時間30分14秒

鹿児島連合(オープン参加)

1区 (4,26km)	水盛 真紀 (鹿国大)	区間 6 位相当	(OPN)15.54
2区 (3,47km)	下石原 早希 (鹿国大)	区間 6 位相当	(OPN)14.09
		累計 6 位相当	(OPN)30.03
3区 (3,83km)	尾ノ上 千夏 (鹿大)	区間 3 位相当	(OPN)13.28
		累計 4 位相当	(OPN)43.31
4区 (7,81km)	宇田津 碧葉 (鹿国大)	区間 5 位相当	(OPN)29.28
		累計 4 位相当	(OPN)1.12.59
5区 (3,48km)	友生 友紀 (志學館大)	区間 7 位相当	(OPN)14.48
		累計 5 位相当	(OPN)1.27.47

第 40 回 全日本競歩能美大会

平成 28 年 3 月 20 日 (日)

石川・能美市営 20 k m コース

男子

種目	氏名	記録	備考
20km 競歩	高橋 宏敬	1'38"52	鹿大歴代 2 位

平成 27 年度 鹿児島大学陸上競技部 部員名簿

<短距離(Short Sprint)>

学年	氏名	出身校	所属	専門
5	伊藤 貴祥	鶴丸(鹿児島)	医/医	100m/10"64 200m/21"50
4	北野 恭平	松商学園(長野)	教育/保体	100m/11"16 200m/22"67 400m/49"72 400mH/56"29 走高跳/1m96cm
4	西牟田 天嗣	熊本学園大附 (熊本)	工/環プロ	100m/11"36 200m/23"04
4	早崎 光	川内(鹿児島)	教育/保体	100m/12"62 200m/25"77
3	上村 洸樹	都城泉ヶ丘 (宮崎)	工/情報生体	100m/11"03
3	倉岡 進吾	小林(宮崎)	工/建築	100m/11"68
3	遠矢 祐美	鹿児島玉龍 (鹿児島)	教育/健康教育	マネージャー
3	日高 達也	加治木 (鹿児島)	農/生物生産	100m/11"03 200m/22"33
3	吉田 麻乃	第二 (熊本)	教育/健康教育	マネージャー
2	上村 凌	武岡台 (鹿児島)	農/生物生産	100m/10"94 200m/22"00
2	木場 彬仁	加治木 (鹿児島)	農/生物生産	100m/11"48
2	中村 弘樹	輝翔館 (福岡)	工/海洋土木	110mH/16"12
1	佐藤 拓実	大分舞鶴 (大分)	工/機械工	100m/11"01 三段跳/14m65

<短距離 (Long Sprint)>

学年	氏名	出身校	所属	専門
M1	富永 拓臣	宇和島南 (愛媛)	農/生物生産	400m/51"11 100m/11"45
4	今長谷 那津美	福岡 (福岡)	農/生物環境	400m/62"54
4	豊 竜誠	加治木 (鹿児島)	法文/経済情報	400m/49"96
4	吉岡 啓夢	水俣 (熊本)	工/環プロ	400mH/55"47

3	尾ノ上 千夏	大村 (長崎)	農/生物生産	400m/60"37 800m/2'17"80
3	豊留 雅也	加世田 (鹿児島)	理/数理情報	400m/50"67 800m/1'59"09
3	宮村 匠	熊本農業 (熊本)	農/生物生産	110mH/16"78 400mH/57"72 100m/11"48
2	甲斐 達気	大分舞鶴 (大分)	工/機械工	400m/48"91
2	本田 奈樹	大分舞鶴 (大分)	教育/保体	400m/59"86
2	松岡 顕仁	東稜(熊本)	工/科学生命	400m/51"83 800m/1'55"83
2	吉元 佑美香	鹿児島女子 (鹿児島)	法文/経済情報	100mH/15"16
1	財前 将大	宇佐 (大分)	工/建築	400mH/1'03"42
1	原田 拓海	指宿 (鹿児島)	教育/地域社会	400m/59"55
1	弓 尚樹	佐賀西 (佐賀)	工/建築	400m/49"94 200m/22"79

<長距離>

学年	氏名	出身校	所属	専門
5	松田 大樹	大島(鹿児島)	医/医	5000m/16'14"88 10000m/33'42"21
4	米田 瑛久	米子東 (鳥取)	医/保健	1500m/4'02"30 3000mSC/9'37"03
3	鈴木 俊也	清水東(静岡)	水産/水産	1500m/4'05"08 5000m/15'05"13
3	園田 亮介	小林 (宮崎)	教育/保体	5000m/14'56"30 10000m/31'49"41
3	高橋 宏敬	日向 (宮崎)	農/生物生産	5000m/16'37"81 10000mW/46'49"89
3	水流 凜太郎	甲南 (鹿児島)	教育/保体	マネージャー
2	有山 雅人	佐世保北 (長崎)	工/建築	5000m/16'14"10 3000mSC/9'58"83
2	高田 蒼太	種子島中央 (鹿児島)	教育/国語	1500m/3'57"89 5000m/15'00"09

2	水溜 将貴	鹿児島南（鹿児島）	法文/経済情報	10000m/31'34"89 3000mSC/9'30"91
1	上木 進伍	鹿屋（鹿児島）	理/生命科学	1500m/4'18"88 5000m/16'16"79

<フィールド>

学年	氏名	出身校	所属	専門
3	秋葉 裕己	明善（福岡）	法文/人文	三段跳/14m32 走幅跳/6m51
3	金本 由佳	玉名（熊本）	農/生物生産	円盤投/33m00
3	鎌田 隼人	水俣（熊本）	教育/保体	やり投/66m31
3	若杉 士擁才	武岡台（鹿児島）	教育/健康教育	十種競技/5531点
2	大島 舞子	札幌手稲（北海道）	医/保健	走高跳
2	河野 泰志	山口中央（山口）	教育/保体	やり投/54m10
2	中崎 真之介	加治木（鹿児島）	教育/保体	十種競技
2	松本 義幸	城北（東京）	医/医	走幅跳/6m29
2	宮下 瞳	洲本（兵庫）	教育/美術	やり投/31m92
1	内田 実来	出水（鹿児島）	教育/保体	走幅跳/5m42
1	黒永 裕汰	鹿児島玉龍（鹿児島）	水産/水産食品	走幅跳/6m72
1	兒島 侑樹	鹿児島中央（鹿児島）	教育/保体	十種競技
1	染矢 健平	武岡台（鹿児島）	工/機械工	三段跳/13m16
1	戸高 弘英	鹿児島中央（鹿児島）	法文/経済情報	棒高跳/2m70

編集後記

今回も皆様のご協力により、平成 27 年度の部報を無事完成させることが出来ました。作成にあたり、お忙しい中にも、関わらず原稿を寄せていただいた監督・コーチ・OBGの方々や、編集作業にご協力いただいた皆様に紙面を借りてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

大会結果のページにもありますように各大会におけるチーム、個人の結果は様々でしたが、新しいシーズンを迎えるにあたり日頃からご指導、ご声援をいただいております OBGの皆様に感謝し、またより良い報告ができるよう部員一同練習に励んでいきたいと思っております。

今回は紙面の都合もあり一部の大会結果しか記載できませんでしたが、選手たちはまだまだ多くの競技会に参加しております。比較的小さな大会でも鹿大歴代記録をはじめ好記録が生まれております。部報上では様々な制約があり載せられない大会情報、日々の活動をおさめた写真などは陸上部のホームページに記載してありますので、そちらも是非ご覧ください。

最後になりましたが、この度学校を出る卒業生や OBG 会の皆様、そして鹿児島大学陸上競技部の今後の活躍と発展を祈念して編集後記とさせていただきます。

編集者一同